

11 ヨーロッパの近代化

スタートドリル

P.6, 7

- 1 (1) 絶対王政 (2) エリザベス1世
 (3) ピューリタン革命 (4) 名誉革命
 (5) 独立宣言 (6) フランス
 (7) ナポレオン

考え方 (2) エリザベス1世は地主や中産階級に成長した商人の支持を受け、国力を強めた。そして、スペインの無敵艦隊を破り、東インド会社を設立してアジア貿易に進出し、絶対王政の全盛期をむかえた。

(4) イギリスではピューリタン革命で共和制が成立したが、クロムウェルが死ぬとすぐに王政が復活した。国王は議会を無視した政治を行ったため、議会は国王を追放し、オランダから新王とそのきさき(イギリス出身)をむかえ入れた。この革命は血を流さなかったため、名誉革命といわれる。

(5) アメリカの独立戦争は、単なる植民地の反乱ではなく、自由を得るための「市民革命」である。

- 2 (1) 国王
 (2) モンテスキュー
 (3) ベルサイユ宮殿

考え方 (2) フランス人。「法の精神」をあらわし、三権分立を説いた。
 (3) パリ郊外のベルサイユにある、ルイ14世の宮殿として建てられた、絶対王政を象徴する建造物。

- 3 (1) ① 絶対王政 ② ピューリタン
 ③ 名誉 ④ 独立 ⑤ ナポレオン
 ⑥ ベルサイユ ⑦ モンテスキュー
 (2) 市民

考え方 (1) ② イギリスでは内乱が数年続いたが、議会派のクロムウェルが国王

軍を破り、1649年に国王を処刑して共和政治を行った。

(2) 17世紀ごろまで、ヨーロッパは国王が絶対的な権力を持っていたが、その後起きた市民革命によって絶対王政がたおされた。

絶対王政とイギリスの市民革命 P.8, 9

- 1 (1) 絶対王政 (2) エリザベス1世
 (3) 市民 (4) クロムウェル

考え方 (1) 封建社会がくずれていく過程で、絶対的な力を持つようになった国王による政治。イギリスのエリザベス1世、フランスのルイ14世のもとで特に発達した。

- 2 (1) 東インド会社
 (2) ピューリタン革命
 (3) 名誉革命 (4) ルイ14世

考え方 (2) カルバン派新教徒の一派、ピューリタン(清教徒)が中心となって議会の動かし起こした革命なので、こう呼ばれる。

- 3 (1) ① 国王 ② 海外
 (2) 毛織物工業
 (3) ピューリタン(清教徒)

考え方 (1) 宗教をおさえ、強大な権力をにぎったイギリスの国王は、大商人と組んで経済力をたくわえ、海外に勢力をのばしていこうとした。

- 4 (1) イ ② 権利(の)章典
 (3) 国王

考え方 (1) イギリスでは、カルバンの教えを信じる人々(ピューリタン)が、さらに宗教改革を進めようとしたため、国王から弾圧を受けた。

(3) 議会で多数をしめた政党が内閣を組織するようになり、世界で最初の議会政治が行われるようになった。

2 アメリカの独立とフランス革命 P.10, 11

- 1 (1) イギリス (2) モンテスキュー
 (3) フランス革命 (4) ワシントン

考え方 (2) 古い制度や慣習を批判し、人間の解放をめざす啓蒙思想がさかんになり、「法の精神」は、政府の機関を立法、行政、司法に分ける三権分立の考えを説いた。

- 2 (1) 独立戦争 (2) 独立宣言
 (3) 人権宣言 (4) ナポレオン

考え方 (3) 革命前のフランスは3身分からなっていて、第一身分の僧と第二身分の貴族は、当時の総人口の2%にすぎないのに、全国の土地の半分近くを所有し、農民から地代をとりたて、重要な官職を独占していた。

- 3 (1) ○ (2) スペイン
 (3) 東海岸

考え方 (1) ルソーは、「社会(国家)は、国民との契約によって、成立するものだ」として国民主権を説き、絶対王政の理論的根拠であった王権神授説を批判した。

- 4 (1) 1789年 (2) イ (3) 帝政
 (4) 自由と平等の思想を広め、民族の自覚をうながした。

考え方 (3) フランス革命後の混乱期に、革命の広がりをおさえようとして派遣された外国軍を次々に破り、国民的英雄となった。皇帝に即位後、ヨーロッパ遠征を行い、その大部分を支配したが、ロシア遠征に失敗して没落した。

まとめのドリル

P.12, 13

- 1 (1) 市民
 (2) ① ピューリタン革命(清教徒革命)
 ② 名誉革命 (3) バスチーユ牢獄
 (4) エ (5) 1776年

考え方 (1) 商工業の発展によって市民階級が成長していたが、絶対王政のもとでは、個人の自由や財産の私有がおさえられていたため、市民は自己の利益を守るために立ち上がった。

- 2 ① ロック ② モンテスキュー
 ③ 法の精神 ④ 国民主権

考え方 啓蒙思想は、イギリスのロックに始まり、フランスのモンテスキュー、ルソーによって展開された思想。古い制度や慣習の非合理性を批判し、市民社会に大きな影響をあたえた。

- 3 (1) ① エリザベス1世
 ② 独立宣言 ③ フランス革命
 ④ ナポレオン
 (2) A クロムウェル B ベルサイユ宮殿 C 人権宣言
 (3) ロシア遠征に失敗した。

考え方 (2) B 「太陽王」と呼ばれたルイ14世が、その富と権力の象徴として、パリ郊外に建てた宮殿。このころ、フランスはヨーロッパ文化の中心として栄えた。

12 欧米の進出と日本の開国

スタートドリル

P.16, 17

- 1 (1) フランス (2) リンカーン
 (3) 南京 (4) ムガル帝国
 (5) ベリー (6) 日米和親条約
 (7) 大政奉還

考え方 (1) フランスでも産業革命が進み、都市に住む労働者が増加し、労働条件の改善や参政権を求める動きが大きくなった。1848年にパリで二月革命が起り、世界に先がけて男子の普通選挙制が実現した。

(4) 16世紀前半から19世紀半ばまでインドを支配していたイスラム教徒

の帝国。

- 2 (1) イギリス (2) 資本主義
(3) マルクス

考え方 (3) ドイツの思想家で、マルクス経済学を唱えた人物。資本主義社会の形態の矛盾を科学的に解明し、社会主義社会を説いた。

- 3 (1) ① 江戸 ② アヘン
③ ペリー ④ 南北
⑤ 薩長同盟 ⑥ 大政奉還
⑦ 産業革命 (2) 資本主義

考え方 (1) ⑤ 薩摩藩は薩英戦争、長州藩は4か国連合艦隊と戦い、攘夷の無謀をさとった。土佐藩出身の坂本龍馬の仲立ちで薩長同盟を結び、討幕へと動いていった。

1 産業革命と欧米諸国 P.18, 19

- 1 (1) イギリス (2) 軽工業
(3) 工場制機械工業 (4) 世界の工場

考え方 (1) イギリスで世界で最初に産業革命が起こったのは、いち早く市民革命が起こり、経済活動の自由と私有財産制が確立したことと、豊富な労働力や資本に加え、海外に広い市場を持っていたことがあげられる。

- 2 (1) 普通選挙 (2) プロイセン
(3) 南北戦争 (4) リンカーン

考え方 (1) 普通選挙とは、財産や納税額によって制限されることのない選挙のこと。

(4) 北部出身の第16代大統領で、奴隷解放を宣言した。ゲティスバーグの演説で言った「人民の、人民による、人民のための政治」は民主主義の政治の特色をあらわす言葉として有名。

- 3 (1) ⑦ 18世紀 ① 綿織物
⑦ 蒸気機関 ⑧ 重工業
(2) 産業革命

考え方 (1) ① このころ、日用品としての綿織物の優れた特色に人気が集まり、需要が高まった。また、綿織物工業は毛織物工業に比べて新興の工業であったために、新しい技術を導入しやすいという利点があった。

- 4 (1) ① 北部 ② 南部
(2) 人民

考え方 (1) 南北戦争は、工業の発達した北部と、農業の発達した南部との対立から起こった戦争。

2 ヨーロッパのアジア侵略 P.20, 21

- 1 (1) セポイ (2) ムガル
(3) マレーシア (4) アヘン
(5) 香港

考え方 (1) イギリスの支配に対する反乱は、インドの国土の3分の2をしめるまでに広がり、インドの独立運動の発点となった。
(4) インド産の麻薬とは、アヘンのこと。

- 2 (1) A 清 B イギリス
C インド (2) アヘン戦争

考え方 18世紀中ごろから、イギリスでは茶(紅茶)が大衆的な飲み物として流行し、イギリスは中国から大量の茶を輸入した。その代金としての銀を、中国へのアヘンの密貿易によって得ていた。

- 3 (1) A ウ B イ (2) 産業革命
(3) インドの大反乱(セポイの乱、セポイの蜂起)

考え方 (1) イギリスで大量生産されるようになった綿布がアジアに輸出されると、インドの手工業による綿布の生産が急速におとろえ、町には失業者があふれた。

(3) イギリスの東インド会社にやられたインド兵をセポイという。セ

ポイにはイスラム教徒や高いカーストのヒンドゥー教徒が多く、それまでの特権を失っていたので、反イギリスの感情を持っていた。

- 4 (1) 洪秀全
(2) ムガル (3) 香港

考え方 (1) キリスト教の影響を受け、財産の平等、土地の均分、男女平等、民族の対等など、万人の平等な社会をめざしたが、太平天国ではみずから天王と称した。

3 開国と江戸幕府の滅亡 P.22, 23

- 1 (1) 日米和親 (2) 安政の大獄
(3) 薩摩 (4) 王政復古
(5) 戊辰戦争

考え方 (2) 大老の井伊直弼は、幕府のやり方に反対する公家、大名、武士たちを厳しく処罰し、幕府の権威をもちかえそうとした。
(5) 鳥羽・伏見に始まり、江戸や会津若松などのおもな戦いが、戊辰の年に起こったため、こう呼ばれる。

- 2 (1) ペリー (2) 井伊直弼
(3) 徳川慶喜 (4) 坂本龍馬

考え方 (1) アメリカは、捕鯨と中国貿易を行っていたが、蒸気船はたびたび石炭や水を補給しなければならなかったため、船の寄港地として日本が必要であり、開港を求めた。

- 3 (1) A 日米修好通商条約
B 領事裁判権 C 関税自主権
(2) 尊王攘夷運動

考え方 (1) C 国家が自主的に輸入品の関税を決めることができる権利。日本はこの権利がなかった。そのため、安い輸入品が日本国内に出回り、国内の産業が大きな打撃を受けた。
(2) 国学の学者などによって唱えられ、武士や上層の農民、商人などの

間に広まった。

- 4 (1) イ・函館 (2) キ・鹿児島
(3) カ・下関

考え方 (2) イギリス人殺傷事件とは、生麦事件のこと。1862年、薩摩藩の島津久光の行列が生麦村(今の横浜市)にさしかかったとき、イギリス人商人らが騎馬で行列を横切ったため、薩摩藩士に切りつけられ、1名が死亡した事件。イギリスは謝罪と慰謝料を求めたが薩摩藩が応じなかったため、翌年薩英戦争が起こった。

まとめのドリル P.24, 25

- 1 (1) 工場制機械工業
(2) ① 資本家 ② 利益

考え方 (2) 資本主義社会の中心となったのは、資本家と労働者である。資本家が利益を追求するあまり、労働者に低賃金・長時間労働などを課すと、労働者は団結して労働条件の改善を求め、資本家と対立した。

- 2 (1) イギリス
(2) ⑦ インド人(セポイ)
① アヘン (3) 産業革命 (4) ア

考え方 (3) イギリスは17世紀に、せんい、金属工業で工場制手工業が発達していた。また、石炭・鉄鉱石の資源にめぐまれていた。当時、多数の農民が土地を失い、安価な工場労働者となった。海外に多くの植民地があり、原料や商品の市場を持っていた。このような理由で、イギリスで世界最初の産業革命が起こった。

- 3 (1) ① 日米和親 ② 薩英戦争
③ 薩長同盟 (2) ア・エ
(3) イギリス

考え方 (1) ① 函館・下田の二港を開いてアメリカ船の寄港を認めた。これによって日本は開国することになった。

ただ、これは幕府が独断で行ったため、朝廷周辺を中心に、強く非難する声があがった。

- 4 (1) 吉田松陰 (2) ハリス
(3) 西郷隆盛 (4) 徳川慶喜

考え方 (1) 長州藩出身の思想家で、勤皇の志士。1854年に海外渡航をくわだてて、下田沖にいたペリーの軍艦に乗ろうとしたが拒否された。萩で松下村塾を開き、1856年7月から58年12月までのわずか2年半の間に、高杉晋作、久坂玄瑞、木戸孝允、山県有朋、伊藤博文らを育てた。1859年、安政の大獄で刑死した。
(2) アメリカの外交官。1856年に初代駐日総領事として日本に着任する。

定期テスト対策問題

P.26, 27

- 1 (1) ナポレオン
(2) インドの大反乱(セポイの乱, セポイの蜂起) (3) 議会 (4) ロック
(5) ウ (6) ビスマルク
(7) ピューリタン革命(清教徒革命)
(8) D

考え方 (1) ベートーベンがナポレオンのためにつくったのが交響曲第三番で、「英雄」と呼ばれている。



▲ナポレオン

- (6) プロイセンの地主貴族(ユニカー)の出身。国王の信任を得て首相となり、ドイツを統一した。かれが議会で行った有名な演説の言葉から「鉄血宰相」と呼ばれた。
2 (1) アヘン
(2) 領事裁判権(治外法権)を認めた。または、関税自主権がなかった。
(3) 攘夷の無謀をさと、薩長同盟を結んで、協力して倒幕運動にあたった。

(4) 南北戦争

考え方 (2) 日本がアメリカをはじめ諸外国と結んだ条約は、日本と諸外国との力の差により、日本側に不平等な条約だった。明治新政府の当面の重要課題は、この不平等条約の改正であった。一方で、日本は朝鮮に、同様な不平等条約を結ばせた。

(4) 気候が寒冷で土地がやせている北部は、商工業を中心に発展した。奴隷を必要としなかったため、南部の奴隷制には批判的であった。気候が温暖で土地が豊かな南部は、プランテーション農業がさかんで、アメリカ系の黒人奴隷の労働力を使って生産していた。

- 3 (1) 蒸気機関 (2) 産業革命
(3) アダム・スミス (4) 世界の工場

考え方 (3) 資本主義の発達に大きな影響をあたえたイギリスの経済学者。国家に干渉されない、個人の自由な経済活動が、経済を発展させると説いた。
(4) 1851年、第一回ロンドン万国博覧会が開かれ、イギリスは鉄とガラスでできた巨大なパビリオン「水晶宮」を建て、世界の工場の実力をみせつけた。

13 明治維新

スタートドリル

P.30, 31

- 1 (1) 五箇条の御誓文 (2) 版籍奉還
(3) 廃藩置県 (4) 徴兵令

考え方 (1) 明治新政府成立当初の基本方針を示したものの。明治天皇が公家・諸侯を率いて神にちかう形で出した。
(2) 1869年、薩摩、長州、土佐、肥前の四藩主が版(土地)と籍(人民)を返したいと政府に願い出た。これは

木戸孝允や大久保利通らが中央集権国家体制をつくるため、四藩主を説得したもの。他の諸藩主もこれにならって、版と籍を政府に返した。

(3) 1871年、薩摩、長州、土佐の三藩の協力で兵を東京に集め、知藩事に対して藩を廃止し県を置くことを命じ、3府302県が成立した。

- 2 (1) 解放令 (2) 地租改正
(3) 富岡製糸場 (4) 福沢諭吉
(5) 学制 (6) 文明開化

考え方 (1) 1871年、えた・ひにんの解放令が出された。これは、江戸時代における身分としての呼び名を廃し、平民と同様にするというもの。しかし、身分解放の保障がなく、兵役と納税の義務があたえられた。

(2) 地租は地価の3%と決められたが、農民におしつけられた地価は実際の地価より高く、収穫高の約3分の1が地租としてとられた。
(3) 群馬県富岡に官営の製糸場がつくられ、1872年に操業を開始した。女工は、近隣の士族の子女が多かった。

- 3 (1) ① 明治 ② 五箇条の御誓文
③ 版籍奉還 ④ 廃藩置県
⑤ 徴兵令 ⑥ 地租 ⑦ 学制
(2) 文明開化

考え方 (1) ⑤ 国民を組織して常備軍をつくらうとする長州派と、士族兵にたよるべきだとする薩摩派とが対立したが、廃藩置県によって諸藩の兵がなくなったことなどもあって、国民皆兵の条件がつくられた。

⑦ 日本最初の近代的学校教育法。全国に5万以上の小学校をつくることにしたが、1875年には18%の校舎しかなく、他は寺院・民家を利用したもので、寺子屋とあまり変わりなかった。

1 新政府の成立

P.32, 33

- 1 (1) ① 版籍奉還 ② 廃藩置県
(2) 四民平等 (3) 明治維新

考え方 (2) 新政府は、天皇のもとに国民を一つにまとめようとして、身分制度を改めた。しかし、現実の差別は消えず、えた・ひにんは戸籍には新平民などと書かれた。

- 2 (1) 五箇条の御誓文 (2) 廃藩置県
(3) 解放令 (4) 五榜の掲示

考え方 (4) 民衆に対しては、幕府の方針がそのまま受けつがれ、また、神道を国の宗教にしようとしたため、各地で寺院や仏像がこわされた。

- 3 (1) ① 五箇条の御誓文
② 五榜の掲示 (2) 公論 (3) イ

考え方 (3) 第二榜は一揆を禁止したもの。第三榜にある切支丹とは、キリスト教の信者のことで、厳禁された。

- 4 (1) ① 皇族 ② 華族 ③ 平民
(2) 東京

考え方 (1) ③ 平民も名字を持つようになり、職業を自由に選択したり、華族や士族と結婚できるようになった。

2 富国強兵・殖産興業

P.34, 35

- 1 (1) 20歳以上 (2) 地租改正
(3) 富岡製糸場 (4) 開拓使

考え方 (1) 戸主やその相続者は兵隊にならなくてよかったので、後継ぎをねらった養子縁組が増えた。

(4) 北海道は近代産業の実験地として、対ロシアの軍事的拠点として開発が進められることになった。1872年から10年間に1000万円を投入することが決定し、その責任者に薩摩出身の黒田清隆がなった。

- 2 (1) ① 3 ② 現金 (2) 徴兵令
(3) 鉄道 (4) 屯田兵

考え方 (1) ② それまでの米による納入は、年によって不安定なものであったため、現金による一定納入に切りかえられ、政府の財政安定化が図られた。

- 3** (1) ① 郵便 ② 貨幣 ③ 鉄道
④ 地租 (2) ロシア
(3) 官営模範工場

考え方 (1) ④ 土地の面積と収穫量を調べ、これにもとづいて地価を決めた。税は、その地価によって額が算出された。

4 ウ・エ
考え方 アは、奈良時代の荘園の起こりを示したものの。イの政府の収入を落とさないためには、地価は高く設定しなければならない。

3 新しい文化 P.36, 37

- 1** (1) 学制 (2) 学校令
(3) キリスト教 (4) 活版印刷
(5) 東京大学

考え方 (2) 1886年に学校令を出して大学・中学・小学の学校制度を整え、義務教育を4年間とした。
(5) 1877年、法学・理学・文学・医学の四学部で発足した。

- 2** (1) 福沢諭吉 (2) 中江兆民
(3) 新島襄

考え方 (2) 土佐藩出身の明治時代の自由民権思想家。フランスのルソーの思想を日本に紹介したので、東洋のルソーと呼ばれている。
(3) 群馬県出身の宗教家・教育家。アメリカに留学し、京都に同志社英学校をつくる。

- 3** (1) 学制 (2) 学校令
(3) イ
考え方 (3) 学校の建設費は住民の寄付金、小学校積立金、授業料などがあてら

れた。一般の子どもの授業料は3銭、5銭、7銭の3種類で、現金か米・麦でおさめさせた。授業料が高く、働き手を失うこともあって、当初の就学率は男女平均30%未満であった。

- 4** (1) 太陽暦 (2) ガス灯・洋館
(3) 文明開化

考え方 (1) 1872年12月3日を1873年1月1日とし、これまでの太陰暦をやめて太陽暦に切りかえた。

まとめのドリル P.38, 39

- 1** (1) ① エ ② イ
(2) 中央集権

考え方 (2) 江戸時代の藩主にかえて、政府の役人を配置して、天皇が直接人民を治めるようにして、政府の方針が日本のすみずみまで行きわたるようにした。

- 2** (1) 学制 (2) 4 か年
(3) 学問のすゝめ (4) 中江兆民

考え方 (3) 福沢諭吉は、幕府使節に従って三度の洋行を果たし、欧米の近代文明にふれて、学問の大切さを痛感し、自主独立の精神を説いた。「学問のすゝめ」は20万部も売れた。



▲福沢諭吉

- 3** (1) ① 五箇条の御誓文
② キリスト教 ③ 徴兵令
④ 官営模範 (2) 解放令
(3) 地租改正 (4) 地券 (5) イ

考え方 (1) ② 五箇条の御誓文とは、五箇条の御誓文が出されたその日に、太政官が立てた五つの制札のこと。明治新政府の人民に対する最初の公式な禁令で、一揆やキリスト教を禁止した。

- (5) 群馬県につくられた。

14 近代日本のあゆみ

スタートドリル P.42, 43

- 1** (1) 日清修好条規 (2) ロシア
(3) 板垣退助 (4) 西郷隆盛
(5) 自由民権運動 (6) 自由党
(7) 大日本帝国憲法 (8) 貴族院

考え方 (2) 日露和親条約で千島列島の択捉島以南を日本領、ウルップ島以北をロシア領とし、樺太は日露雑居地とした。1875年には千島を日本領、樺太をロシア領とする交換条約が成立した。

(6) 自由党は、日本ではじめて民主主義をかかげた全国的な政党であり、自由民権論に立って政府批判を行うとともに、活発な遊説活動を展開した。

- (8) 予算先議権のほかは衆議院と対等とされた。

- 2** (1) 2.5%
(2) 秩父事件

考え方 (1) 1875年ころから全国で地租改正反対一揆が起こるようになり、1876年の和歌山県・茨城県・三重県の一揆が有名。政府は1877年に地租率を0.5%引き下げることを選定した。

- 3** (1) ① 明治 ② 民撰議院
③ 自由民権 ④ 自由党
⑤ 大日本 ⑥ 秩父 ⑦ 衆議院
(2) 国会

考え方 (1) ② 征韓論が敗れて政府を去った板垣退助・後藤象二郎らが1874年1月に左院に提出するとともに、全文を当時最大の新聞に発表した。
⑦ 衆議院議員の選挙では、投票する人が自分の住所・名前を書き、そ

の下に印をおすため、だれに投票したかすぐにわかってしまう。

1 国際関係 P.44, 45

- 1** (1) 朝鮮 (2) 樺太・千島交換
(3) 沖縄県 (4) 小笠原諸島
(5) 日清修好条規

考え方 (3) 琉球は、江戸初期に薩摩藩に征服されたが、中国に対して一種の主従関係を結んでいたため、明治政府は領有を明らかにするため、沖縄県とした。

(4) 16世紀末の文禄年間小笠原貞頼が発見し、島名もそれによるとされるが、貞頼という人物は小笠原家の系図には見られない。長い間無人島であったが、ペリーが来日後アメリカ人移住で国際問題化し、幕府も日本領を主張し、1876年に日本の領有が各国に承認された。

- 2** (1) 征韓論 (2) 江華島事件
(3) 琉球処分

考え方 (2) 朝鮮の江華島の近くで、日本の軍艦が演習や測量を行い、朝鮮の砲撃をさそい、これに応戦した事件。
(3) 薩摩藩と清の両方に関係の深かった琉球は、1872年に琉球藩とされたが、清はこれを認めなかった。そこで1879年に、琉球に軍隊と警官を送り、琉球藩を廃して沖縄県とした。

- 3** (1) 江華島事件 (2) ① 樺太
② ウルップ (3) 小笠原諸島

考え方 (3) 東京都小笠原村に属する、大小30余の島々から成り立っている。

- 4** (1) 板垣退助・西郷隆盛
(2) ① 日清修好条規
② 日朝修好条規

考え方 (1) 西郷らは、朝鮮に武力で不平等条約をおしつける形で国交を開こうとした。しかし、岩倉らが反対した

ので征韓論はならなかった。

② 専制政治への不満

P.46, 47

- 1 (1) 藩閥政治
 (2) 民撰議院設立建白書
 (3) 西南戦争 (4) 自由民権運動
 (5) 国会開設

考え方 (1) 出身地が同じなどの理由で団結し、その利益を守ろうとする人々のつながりを「閥」という。明治政府では、薩摩藩と長州藩出身者らがそれぞれ閥をつくった。

(5) 北海道開拓使官有物払い下げ事件とは、開拓使長官の薩摩出身の黒田清隆が、同じ薩摩出身の商人五代友厚に、1400万円の官営事業をわずか30万円で払い下げようとした事件。

- 2 (1) 大久保利通 (2) 板垣退助
 (3) 大隈重信

考え方 (2) 遊説途中の岐阜で暴漢におそわれたとき「板垣死すとも自由は死せず」と言ったと伝えられている。

- 3 (1) ① 藩閥 ② 自由民権
 (2) ① 西南 ② 地租 ③ 2.5

考え方 (2) ① 中世以降、戦争のプロであった武士たちと、農民や商人などから集められた徴兵たちの戦い。武士にとっては、自分たちの存在感をかけた戦いだった。

- 4 (1) 西南戦争 (2) 板垣退助
 (3) 大隈重信 (4) 秩父事件

考え方 (4) 秩父は埼玉県西部の地名。福島事件は福島県、加波山事件は茨城県。事件の起こった土地の名称が、そのまま名称となったものが多い。

③ 立憲国家の成立

P.48, 49

- 1 (1) ドイツ (2) 天皇
 (3) 教育勅語 (4) 衆議院

- (5) 地租の軽減 (6) 1.1
考え方 (4) 皇族や華族、国家功労者のなかから任命された貴族院と、選挙で選ばれた衆議院とは、しだいに対立するようになった。

2 A・D

考え方 A 教育勅語は、天皇を中心とする国民の精神的統一を目的とした。

D 第一回衆議院議員総選挙では、制限選挙であったにもかかわらず、自由民権運動の流れをくむ人たちが多く当選した。

- 3 (1) 大日本帝国憲法 (2) 天皇
 (3) イ (4) 伊藤博文

考え方 (2) 大日本帝国憲法では、主権は天皇にあった。

- 4 (1) 衆議院 (2) 多額納税者
 (3) 衆議院 (4) 25歳以上の男子

考え方 (4) 現在のように20歳以上の男女に選挙権があたえられたのは、第二次世界大戦後である。

まとめのドリル

P.50, 51

- 1 (1) 教育勅語 (2) 自由民権運動
 (3) ウ (4) 自由党 (5) 1889年
 (6) 制限選挙 (7) 貴族院 (8) C

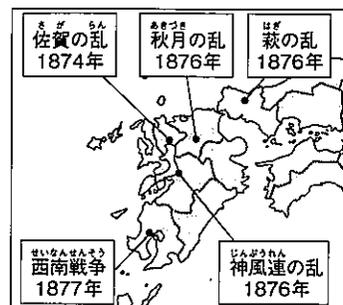
考え方 (2) 国会開設を求める自由民権運動は、都市の知識人、地方の有力な農民、地主や商工業者の間に広まり、全国的な高まりをみせた。

- 2 A E B A
 C ウ

考え方 Bの絵は衆議院議員総選挙の投票風景、Cの絵は明治天皇から内閣総理大臣黒田清隆に憲法が手わたされる様子をえがいたもの。

- 3 (1) 西郷隆盛・西南戦争
 (2) 伊藤博文・ドイツ(プロイセン)
 (3) 自由党・板垣退助
 (4) 立憲改進黨・大隈重信

考え方 (1) 士族の特権を次々にうばう政府に対して、士族は各地で反乱を起こしたが、西南戦争以降は終息し、もっぱら言論による政府批判が行われるようになった。



▲おもな士族の反乱

定期テスト対策問題

P.52, 53

- 1 (1) 自由民権運動 (2) 板垣退助
 (3) 西南戦争 (4) 立憲改進黨
 (5) B (6) 伊藤博文
 (7) 天皇に権力を集中させるため、君主権の強いドイツの憲法を参考にした。
 (8) イ (9) 貴族院

考え方 (7) 大日本帝国憲法は、君主権の強いドイツ(プロイセン)の憲法を参考にしてつくられたため、それにもとづく立法機関である帝国議会も、議会の権限はおさえられ、民主的な機能はたいへん低かった。

- 2 (1) フランス革命
 (2) 中江兆民

考え方 (2) 中江兆民とおなじ高知出身の植木枝盛は、フランス思想をもとに憲法の草案をつくったりした。また、イギリスの立憲君主制に学ぼうという案も、福沢諭吉の弟子たちから出されていた。

- 3 (1) ① 版籍奉還 ② 廃藩置県
 (2) 地租改正 (3) 官営模範工場
 (4) 福沢諭吉

考え方 (2) 写真は地券である。地券には土地の所有者名・地価などが記載されていた。

15 日清・日露戦争

スタートドリル

P.56, 57

- 1 (1) 帝国主義 (2) 領事裁判権
 (3) 甲午農民戦争 (4) 台湾
 (5) 遼東半島 (6) ポーツマス条約
 (7) 南樺太 (8) 韓国併合

考え方 (1) 広大な植民地を持っているイギリス・フランスに対して、新興のドイツ・アメリカ・ロシア・日本などが植民地再分割を求めて、列強間の紛争がたびたび起こるようになった。

(3) 東学とは、地主貴族の一人が始めた宗教のこと。身分による高低、貧富の差、いやしい者と高貴な者のちがいは生まれながらのものではなく、定められたものでもないことを説いて、人間の平等を唱えた。また、甲午農民戦争が起こると、日清両国は出兵し、反乱の鎮圧後も朝鮮の内政改革に干渉して対立を深めた。

(4) 台湾を植民地とした日本は、台北に台湾総督府を置いて統治した。

(5) 清から遼東半島をゆずり受けたが、ロシア・フランス・ドイツによる「三国干渉」を招き、日本の国力と国際情勢とを考えた政府は、列強三国の圧力により、遼東半島を返還することにした。

(6)・(7) ロシアは敗戦国でないので、賠償金は支払わないとして、樺太の南半分を日本にゆずりわたした。

(8) 日本はこの合併を、朝鮮の国王が申し出、日本の天皇がこれを受け入れたものという形式をとらせた。

2 (1) 辛亥革命

(2) 孫文

【考え方】(2) 中国革命の

父といわれる人物。中華民国で袁世凱の独裁政治が始まると日本に亡命し、ひ



▲孫文

き続き革命運動を指導した。

3 (1) ① 明治 ② 日清 ③ 下関

④ 日露戦争 ⑤ 韓国併合

⑥ 辛亥 ⑦ 中華民国 (2) 帝国

【考え方】(1) ③ 1895年、日清戦争の講和会議が山口県下関市で開かれ、日本側全権は伊藤博文・陸奥宗光であった。この会議で、日本に台湾などをゆずり、賠償金として日本に二億両を支払うことなどが決められた。

1 欧米の侵略と条約改正 P.58, 59

- 1 (1) 岩倉具視 (2) 欧化 (3) 領事裁判権 (4) 関税自主権

【考え方】(2) 諸外国は、日本がまだ近代国家としての形を整えていないという理由で、条約改正に応じなかったため、ヨーロッパ風の建物や、服装など形をまねようとした。鹿鳴館は東京都千代田区内幸町の現在の帝国ホテルのとなりに建てられた。

- 2 (1) フランス (2) イギリス (3) アメリカ合衆国 (4) ロシア

【考え方】(1) ベトナムなどのインドシナは、フランス領インドシナといわれた。(3) フィリピンは、16世紀ごろからスペインの植民地だったが、1898年の米西(アメリカ・スペイン)戦争でアメリカが勝ち、アメリカの植民地となった。

- 3 (1) A フランス B イギリス (2) エチオピア (3) 帝国主義

【考え方】(1) アフリカはそのほとんどがヨーロッパ列強の植民地となったが、特に広大な植民地を持ったのは、イギリスとフランスである。イギリスは南北に、フランスは東西に植民地を広げた。

(2) アフリカ北東部の国。

- 4 (1) 日米修好通商条約 (2) 日英通商航海条約 (3) 領事裁判権(治外法権) (4) 小村寿太郎

【考え方】(1) 戊辰戦争などのさい、明治政府は、幕府が結んだ条約の引きつぎを約束し、そのかわりに中立を守るように要求した。このため不平等条約を引きつぐことになり、政府にとって条約改正は、最重要課題であった。(4) 宮崎県飨肥藩出身の外交官。日清戦争のときは清国代理公使、1901年に外務大臣となり、日英同盟を結び、ポーツマス条約では全権として出席した。

2 日清戦争 P.60, 61

- 1 (1) 朝鮮 (2) 甲午農民戦争 (3) 日清戦争 (4) 台湾

【考え方】(3) 朝鮮を支配下に置いて、大陸への足がかりにしようとした日本は、朝鮮を完全な独立国だと主張したが、清は朝鮮を自国の属国とみなし、両国の対立は深まっていった。

- 2 (1) ロシア (2) 遼東半島 (3) 三国干渉 (4) 租借地

【考え方】(3) 日清戦争を終えたばかりの日本には、三国に対抗するだけの軍事力も経済力もなかった。これをきっかけに、日本とロシアの対立は表面化した。

- 3 (1) 三国干渉 (2) 租借地 (3) 日清戦争 (4) 軍備の拡張

(5) 朝鮮 (6) 甲午農民戦争

(7) 清(中国) (8) ②

【考え方】(4) 下関条約による賠償金として約3億1000万円、遼東半島返還の還付金として約5000万円の、約3億6000万円があった。そのうち、軍備拡張費が約63%、臨時軍備費が約22%であった。

(8)1876年に結ばれたDの不平等条約により、朝鮮は開国され、1894年に外国人を排斥するEの反乱が起こった。それをきっかけに始まった日清戦争の結果C、それにAの干渉が行われた。Bは、戦争に敗れた清に対する列強の侵略の様子。

3 日露戦争 P.62, 63

- 1 (1) 内村鑑三 (2) ポーツマス (3) 韓国 (4) 孫文

【考え方】(1) 群馬県高崎藩士の子として江戸に生まれる。東京外国語学校、札幌農学校を卒業する。札幌農学校時代にキリスト教徒となる。日露戦争の開戦をめぐって、キリスト教徒の立場から反戦を主張した。キリスト教の主張者としてキリスト教界だけでなく、日本の宗教、教育、思想、文学などに深い影響をおよぼした。

- 2 (1) 義和団事件 (2) 朝鮮 (3) イギリス (4) 日英同盟

【考え方】(1) 義和団は、はじめはキリスト教の排斥を主張していたが、のちに外国人排斥を主張するようになった。このとき、イギリスは南アフリカのオランダの植民地を征服(ボーア戦争)していたし、アメリカはスペインと戦争していたので、日本とロシアに連合軍の主力を期待した。(3) 領事裁判権(治外法権)の撤廃を最初に認めた国。

3 (1) 義和団 (2) 外国人排斥

(3) 日英同盟 (4) 韓国

(5) ポーツマス条約 (6) アメリカ

【考え方】(3) イギリスは他国と同盟を結ばずに、「名誉ある孤立」を守っていたが、日英同盟の成立ではじめて他国と同盟を結んだ。

(5) ポーツマスは、アメリカのニューハンプシャー州の大西洋岸にある都市。1905年にこの地で日露戦争の講和条約が結ばれた。

- 4 (1) 辛亥革命 (2) 中華民国 (3) 孫文 (4) 三民主義

【考え方】(1) 義和団事件ののち、清は多額の賠償金を支払うために、国民に重税を課した。また、鉄道を担保に外国から資金を借りるなど、外国に接近する態度をとるようになった。一方、国民の間には、外国から国内の権益をとりもどそうとする動きが起こった。このような情勢の中で、革命の気運が高まり、武昌での軍隊の蜂起をきっかけに、中南部の多くの者が清からの独立を宣言した。

まとめのドリル P.64, 65

- 1 (1) 朝鮮 (2) 下関 (3) 帝国主義 (4) 台湾 (5) 三国干渉 (6) イ (7) 関税自主権の回復

【考え方】(4) 日本の植民地となることが決まると独立運動が起こったが、日本は軍隊を派遣してこれをおさえた。(7) 領事裁判権の撤廃のほうに先に達成され、関税自主権の回復はあとに残された。

- 2 (1) 遼東半島 (2) 日英 (3) 南樺太 (4) 辛亥革命

【考え方】(1) 旅順、大連といった天然の良港があり、満州や朝鮮に進出しようとしていたロシアにとっては、日本が

この地域を領有するのは不都合であった。

- 3 (1) 陸奥宗光 (2) 幸徳秋水
(3) 小村寿太郎 (4) 孫文

考え方 (1) 和歌山藩出身の政治家、外交官。坂本龍馬と知りあい、海援隊に入つて活躍する。明治維新後は兵庫県知事、神奈川県知事などになり、1892年に第二次伊藤博文内閣の外務大臣に就任し、イギリスとの間で領事裁判権の撤廃に成功、1895年には下関講和会議の全権となる。
(2) 堺利彦らとともに「平民新聞」を発刊し、日露戦争開戦後も反戦論を主張した。日露戦争に反対を唱えた人物は、かれらのほかにキリスト教徒の内村鑑三がいる。

16 近代産業の発達

スタートドリル

P.68, 69

- 1 (1) 軽工業 (2) 八幡製鉄所
(3) 財閥 (4) 小作人 (5) 足尾

考え方 (1) 1897年の輸出額の約3分の1は生糸で、大部分がアメリカに輸出されていた。そのため、「アメリカがくしゃみをすると、日本経済はかぜをひく」といわれた。輸入の中心は綿花で、インド産が半分以上をしめていた。
(3) 三井は江戸時代初期に京都と江戸で越後屋呉服店(三越デパートの前身)を開き、両替商も営んで土台を築いた。三菱は岩崎弥太郎の海運業(西南戦争で大利益をあげる)に始まり、明治政府の保護を受けた。住友は江戸時代中ごろから別子銅山と

両替商で富を得た。安田は江戸時代に両替商を始めた。

(5) 足尾銅山は江戸時代はじめに採掘され、江戸幕府が直轄としたが、17世紀末におとろえ、1877年から古河市兵衛によって経営されていた。

- 2 (1) 福沢諭吉 (2) 二葉亭四迷
(3) 自然主義 (4) フェノロサ
(5) 北里柴三郎

考え方 (2) 東京都出身の小説家。坪内逍遙の指導で小説を書き、話し言葉と一致した文学(言文一致)で「浮雲」を発表した。

(5) 熊本県出身の細菌学者。東京大学医学部を卒業し、内務省に入る。

ドイツに留学してコッホの研究所に入り、破傷風の血清療法を発見し、北里の名は全世界に広がった。帰国後に伝染病研究所を建て、ペスト菌を発見する。大隈内閣が伝染病研究所を東京帝国大学の付属としたためここをやめ、私財で北里研究所を建て、ここがのちの北里大学となる。

- 3 (1) ① 明治 ② 田中正造
③ 八幡 ④ 大逆 ⑤ 福沢諭吉
⑥ 樋口一葉 ⑦ 夏目漱石
(2) 産業革命

考え方 (1) ⑥ 東京都生まれの小説家。20歳で小説を書き始め、「たけくらべ」や「にがりえ」などの代表作があるが、結核のため24歳でなくなった。東京都台東区竜泉に一葉記念館がある。

1 産業革命の進展

P.70, 71

- 1 (1) 八幡製鉄所 (2) 財閥
(3) 大逆事件 (4) 田中正造

考え方 (4) 古河財閥が経営する足尾銅山の鉱毒事件を帝国議会でうったえ、再三にわたり政府を追求したが、効果はなかった。そこで衆議院議員を辞

職すると、1901年に天皇への直訴をくわだてた。

- 2 (1) 産業革命 (2) 生糸
(3) 養蚕業 (4) 八幡製鉄所
(5) 重工業

考え方 (1) 日本の産業革命が始まったのは明治中期の1880年代。日清戦争の前後に紡績業を中心とするせんい工業で本格化し、1901年の八幡製鉄所の操業開始によって重工業部門にもおよんだ。18世紀後半に始まったイギリスの産業革命から、ほぼ100年おけている。

- 3 (1) 軽工業(せんい工業) (2) 財閥
(3) 小作 (4) 労働争議

考え方 (3) 明治の末には、小作地が全耕地の45%をこえるようになった。小作料として収穫高の半分くらいを地主におさめていたので生活は苦しかった。小作人の中には、都市に出て労働者となる者も多かった。

- 4 (1) 八幡製鉄所 (2) 足尾銅山
(3) 田中正造

考え方 (1) 日清戦争後、鉄鋼の自給をめざして北九州につくられた官営模範工場。石炭は近くの筑豊炭田からとり、鉄鉱石は中国から輸入した。

(2) 日本最初の公害問題が起こった銅山。被害を受けた農民は、銅山の操業停止を求めて、請願運動を行ったが聞き入れられず、警官と衝突するようなことも何度かあったが、結局十分な解決はみられなかった。

2 近代文化の形成

P.72, 73

- 1 (1) 6年 (2) 福沢諭吉
(3) 北里柴三郎

考え方 (1) 明治初期の学校令では、義務教育は4年であった。1907年に小学校令が改正され、義務教育は6年となっ

た。
(3) 志賀潔は赤痢菌を発見し、野口英世は黄熱病の研究にとり組んだが、西アフリカで黄熱病にかかってなくなった。

- 2 (1) 坪内逍遙 (2) 二葉亭四迷
(3) 長岡半太郎 (4) 夏目漱石
(5) 黒田清輝

考え方 (4) イギリス留学ののち、豊かな教養と人生観を作品にあらわし、新聞連載の「三四郎」はじめ

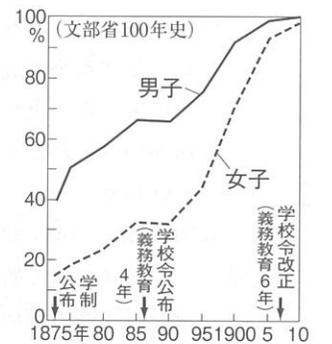


▲夏目漱石

「坊っちゃん」、「それから」など、数多くの作品を残した。
(5) パリに留学して法律を学んだが、絵画に情熱を持つようになり、セザンヌ・ルノアール・ゴッホなどの印象派の影響を受けた。代表作「読書」は、フランス留学中の作品。

- 3 (1) 学制 (2) 4
(3) 6 (4) 女子

考え方 政府の熱心な教育政策と国民の教育熱の高まりによって、義務教育の就学率とともに、進学率も高まった。



▲義務教育の就学率

- 4 (1) 志賀潔 (2) ○
(3) フェノロサ (4) 石川啄木
(5) 森鷗外

考え方 (3) 政府に招かれて来日し、東京大学で哲学などを講義するかたわら、

日本美術に関心を持ち、その復興に努めた。

(5) ヨーロッパの文学を日本に紹介するとともに、知的で客観的な作風をうちたてた。「阿部一族」「雁」などが代表的作品。

まとめのドリル

P.74, 75

- 1 (1) 八幡 (2) 幸徳秋水
 (3) 製糸業 (4) 石炭(炭鉱)
 (5) 田中正造 (6) アメリカ
 (7) D (8) 日清戦争

2 (2) 当時の刑法に「天皇とその近親者に危害を加えた者、および危害を加えようとした者」に関する規定があり、この罪を大逆罪といた。大逆罪を犯した者は死刑と決められ、幸徳秋水ら社会主義者たちも、この罪に問われて死刑となったが、その多くは無実であったといわれる。

- 2 (1) 学制 (2) 教育勅語
 (3) 6年 (4) 福沢諭吉

3 (1) 学制が出された当時、就学率が低かったのは、授業料が高かったことや、一家の働き手である子どもが学校へ行ってしまうと困る親がいたから。子守奉公で義務教育を受けられない子どものために、各地に特別学級がつくられた。

- 3 (1) フェノロサ (2) 二葉亭四迷
 (2) 滝廉太郎 (4) 北里柴三郎

4 (1) フェノロサや岡倉天心にみいだされた日本画の横山大観は、洋画に対して日本画にも新風をふきこみ、すぐれた作品を残した。

(3) ライプチヒ王立音楽院に留学したが、肺結核のために24歳という若さで死んだ。「荒城の月」、「お正月」(もういくつねると お正月……)などがある。

定期テスト対策問題

P.76, 77

- 1 (1) 義和団 (2) 領事裁判権
 (3) ロシア (4) 幸徳秋水 (5) エ
 (6) ロシアから賠償金が得られなかったから。
 (7) 韓国併合 (8) 中華民国

2 (6) 多大な犠牲を払った国民にとつて、ロシアから賠償金を取れなかったことは大きな不満であった。しかし、現実には、日本には戦争を継続する能力がなかったため、日本のたび重なる譲歩によって、ようやくポーツマス条約が成立した。

- 2 (1) 教育勅語 (2) 帝国主義
 (3) 三国干渉 (4) 三民主義

3 (4) 中国の革命運動の基本理論とされた。孫文は革命が成功すると、臨時政府の臨時大総統となったが、間もなく、清をほろぼした軍閥(実際に実力を持った勢力)である袁世凱に大総統の地位をゆずった。

- 3 (1) ア (2) 財閥
 (3) 八幡製鉄所 (4) 足尾銅山

4 (3) 日清戦争後、清からの賠償金で、鉄鋼の自給をめざしてつくられた官営模範工場。政府は、三国干渉に屈したことを反省し、鉄鋼業を中心とした重工業を発展させて、軍備を増強しようとした。

17 第一次世界大戦とアジア・日本

スタートドリル

P.80, 81

- 1 (1) 三国協商 (2) ロシア
 (3) 五・四運動 (4) 吉野作造
 (5) 米騒動 (6) 原敬
 (7) 治安維持法

1 (1) 1882年、ドイツ・オーストリア・イタリアが三国同盟を結んだ。これに対して、1891年にロシア・フランス同盟、1904年にイギリス・フランス協商、1907年にイギリス・ロシア協商が成立し、ドイツ・オーストリアに対する三国協商ができた。
 (3) 1919年5月4日、北京の学生が日本の対中国政策に反対して示威運動を行い、これをきっかけに国民の間に広まった運動のこと。学生たちは街頭でビラをまき、国産品を売って歩き、日本商品のボイコットをうったえた。

(6) 岩手県南部藩の家老の家に生まれる。新聞記者・役人・大臣を経て立憲政友会総裁となる。爵位を持たなかったことから「平民宰相」と呼ばれた。1921年、東京駅で一青年に暗殺された。

- 2 (1) 全国水平社 (2) 関東大震災
 (3) ラジオ

3 (2) 1923年9月1日、相模湾を震源とする大地震が起こり、関東全域・静岡・山梨の一部に大きな被害をあたえた。このとき、朝鮮人が放火した、暴動を起こすなどの流言が伝わり、各地で多くの朝鮮人が殺された。また、社会主義者の大杉栄が憲兵大尉らに殺された。

(3) 1925年3月1日にラジオ放送が開始され、東京・愛宕山に専属の放送局がつくられた。

- 3 (1) ① 明治 ② 大正
 ③ 三国同盟 ④ ベルサイユ
 ⑤ 原敬(原内閣) ⑥ 普通選挙
 ⑦ ラジオ (2) 大衆

4 (1) ⑥ 普通選挙制によって、25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。

1 第一次世界大戦と日本 P.82, 83

- 1 (1) ① 三国同盟 ② 三国協商
 (2) イタリア (3) ① バルカン
 ② トルコ



▲第一次世界大戦

2 (2) 連合国とは三国協商側に立った国々。第一次世界大戦が始まると、イタリアはイギリス・フランス側に立って参戦した。

(3) バルカン半島は複雑な民族構成と、イスラム教、キリスト教など宗教上の対立もあって、20世紀には数度にわたるバルカン戦争が起こった。

- 2 (1) 火薬庫 (2) ① セルビア
 ② オーストリア (3) 飛行機
 (4) ヨーロッパ

3 (3)・(4) それまでの戦争は、職業軍人同士が殺し合うことが主で、民間人は戦場付近以外では被害にあうことは少なかったが、第一次世界大戦では、兵器が格段に進歩したこともあって、多数の民間人や民間施設がまきこまれて被害を受けた。

- 3 (1) イ (2) イギリス (3) ウ
 (4) 成金

4 (1) ドイツが中国に租借していた青島やドイツ領の南洋諸島を攻撃した。
 (4) 将棋で、「歩」が敵陣に入ると、「金」に変わって強い力を持つことになるのにたとえた言葉。

- 4 (1) アメリカ
 (2) 二十一条の要求 (3) レーニン
 (4) ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)

考え方 (1) ドイツの無差別潜水艦作戦で中立国の船も攻撃するようになると、中立を守っていたアメリカも連合国側に立って参戦した。
 (2) 日本の強い圧力で要求の大部分を袁世凱政府が認めると、中国全土で反日運動が起こった。

2 国際協調の時代 P.84, 85

- 1 (1) パリ (2) ウィルソン
 (3) ベルサイユ (4) 日本

考え方 (2) リンカーンは南北戦争のとき、ワシントンはアメリカ独立戦争後の初代のアメリカ大統領。
 (3) パリで講和会議が開かれ、パリ郊外にあるベルサイユ宮殿で講和条約が結ばれた。

- 2 (1) ① 国際連盟 ② 常任理事国
 ③ アメリカ ④ ドイツ
 (2) ワシントン会議

考え方 (1) ③ アメリカは、ヨーロッパ諸国のアメリカ大陸への干渉を排除するために、ヨーロッパのことは干渉しないという立場を取ってきた。これは第5代大統領モンローが宣言したのでモンロー主義と言われる。この孤立政策によって、国際連盟への加盟は議会で否決された。
 (2) この会議で日英同盟の廃止が決められた。また、海軍の主力艦の保有量を制限する条約も結ばれた。

- 3 (1) 民族自決
 (2) フランス・イギリス (3) ウ

考え方 (2) オーストリアは敗戦国、中国は中立国。アメリカはウィルソン大統領の下に平和外交を展開した。

(3) ベルサイユ条約では、ドイツに対して厳しい制裁措置がとられ、ドイツには多額の賠償金の支払いが課せられて苦しんだ。

- 4 (1) ジュネーブ (2) 日英同盟
 (3) 日本 (4) (パリ)不戦条約

考え方 (2) 日本はこの同盟を口実に、第一次世界大戦に参戦した。
 (4) アメリカ・フランス・イギリス・ドイツ・イタリア・日本など15か国が調印したが、違反国への制裁が定められず、あまり効果はなかった。

3 民主主義と民族独立運動 P.86, 87

- 1 (1) アジア (2) ウィルソン
 (3) 中国 (4) 日本 (5) イギリス

考え方 (2) 大戦中にアメリカ大統領ウィルソンは、14か条の提案で民族自決を提唱した。
 (3) パリ講和会議で二十一条の要求の解消が認められなかった5月4日に、中国全土で激しい反日運動が始まった。五・四運動という。
 (4) 1919年3月1日に、日本の植民地支配に対して独立宣言が発表され、朝鮮全土で独立運動が起こった。これを三・一独立運動という。

- 2 (1) ロシア (2) 参政権
 (3) アメリカ (4) イギリス
 (5) 普通

考え方 (1) ロシア革命は史上はじめての社会主義革命で、世界各国で社会主義運動がさかんになった。

- 3 (1) ア (2) ① 五・四運動
 ② 三・一独立運動 (3) ガンディー
 (4) ① 非 ② 不

考え方 (1) 戦場となったヨーロッパの帝国主義諸国は、戦争であれ果てて国力がおとろえた。
 (3)・(4) 大戦中イギリスは、戦後の

自治を約束してインド兵をつのった。しかし、この約束は一部しか守られなかった。

- 4 (1) ワイマール憲法 (2) ウ
 (3) イ

考え方 (2) 多くの連邦から成っていたドイツは、1871年にプロイセンを中心にドイツ帝国として統一されたが、大戦末期に革命が起こり、皇帝が退位して共和国となった。

4 大正デモクラシー P.88, 89

- 1 (1) 大正デモクラシー (2) 米騒動
 (3) 関東大震災 (4) 普通選挙制

考え方 (2) 富山県魚津町(今の魚津市)の漁民の主婦たちが大挙して米屋におしかけたことをきっかけに、全国に波及した。
 (4) 普通選挙と言っているが、女性には参政権がなく、本当の意味での普通選挙制度ではない。

- 2 (1) 民本主義 (2) 原敬
 (3) 治安維持法

考え方 (1) 日本は天皇主権の国であるので、民主主義では天皇に背くことになるのと、民衆の幸福を根本に考えると、民衆の幸福を根拠に考えると、意味で「民本主義」と唱えた。
 (2) 米騒動の直後に、非立憲的であると非難された寺内正毅内閣に代わって組閣した。外務・陸軍・海軍以外の大臣をすべて政党から選んだ。
 (3) 国体の変革や私有財産制を否定する動き、すなわち社会主義運動や共産主義運動を取りしめるために定められた。

- 3 (1) 憲政擁護運動 (護憲運動)
 (2) 立憲政友会 (3) 4

考え方 (1) アジアではじめての憲法である大日本帝国憲法の立憲主義の理念を大切にしようという運動。

(2) 伊藤博文が1900年に結成した政友党。
 (3) 普通選挙法によって選挙権の納税額による制限がなくなり、有権者数は大はばに増えた。

- 4 (1) ① 小作争議 ② 日本共産党
 (2) 全国水平社 (3) 新婦人協会

考え方 (1) ① 地主に対し、小作人が小作条件の改善を求める闘争。
 (2) 明治初期に出された解放令で、部落差別は制度としては禁止されたが、差別は根強く残った。

まとめのドリル P.90, 91

- 1 (1) A オーストリア B イタリア
 C ドイツ D ロシア
 E フランス F イギリス
 (2) ワイマール憲法(ドイツ共和国憲法)
 (3) レーニン (4) シベリア出兵
 (5) 国際連盟 (6) 日英同盟

考え方 (1) B国は、大戦後に戦勝国としてイギリス・フランス・日本とともに国際連盟の常任理事国となった。
 (3)・(4) Dの革命とは、ロシア革命のこと。
 (5) Eの講和会議は、パリ講和会議のこと。

- 2 (1) ① 二十一条の要求
 ② 政党内閣 ③ 治安維持法
 (2) 米騒動 (3) 25

考え方 (1) ② 政党の党首が内閣を組織した例は、1898(明治31)年の第一次大隈重信内閣がある。板垣退助が内務大臣となったので隈板内閣と言われたが、憲政党の党内抗争で四か月で崩壊した。③ 普通選挙法と同年に制定されていることに注目する。
 (3) 年齢制限は、第1回総選挙のときと変わっていない。

3 (1) 輸出 (2) 不景気になった。

(3) 日本労働総同盟

考え方 (2) 大戦後に輸入・輸出とも減少している。このことから、大戦景気といわれた好景気が終わって、日本が不景気におそわれていたことがわかる。

18 第二次世界大戦とアジア

スタートドリル

P.94, 95

- 1 (1) ブロック経済 (2) ヒトラー
 (3) 満州事変 (4) 犬養毅
 (5) 第二次世界大戦 (6) 太平洋戦争
 (7) ポツダム宣言

考え方 (1) 1932年、カナダのオタワでイギリス連邦諸国の会議を開き、連邦内の各国の間では関税を低くして輸出入の増大を図り、連邦外の国々に対しては関税を高くしたり、輸入を禁止したりすることにした。

(4) 五・一五事件後、軍部は政党内閣では青年将校らをおさえられないとして、海軍大将斎藤実を首相とすることに成功した。

(6) 日本政府がアメリカ政府に最終回答を手わたす約1時間前に、日本海軍がハワイの真珠湾を攻撃した。国交断絶前の日本の攻撃開始は世界から非難され、アメリカ国民を「真珠湾を忘れるな」と団結させた。

- 2 (1) 国家総動員法
 (2) 学徒出陣 (3) 疎開

考え方 (1) 労務、物資、施設などの経済部門や国民生活のすべてを、勅令で政府の統制下におくことを認める法律であった。

(2) 理工系を除いて学生の徴兵猶予

が廃止され、1943年12月、最初の学徒が戦場へ向かった。

- 3 (1) ① 昭和 ② 世界恐慌
 ③ ニューディール(政策)
 ④ 犬養毅 ⑤ 太平洋
 ⑥ ポツダム ⑦ 原子爆弾
 (2) 孤立

考え方 (1) ② 1929年10月、ニューヨーク株式市場の株価が大暴落した。多くの銀行は所有株の暴落のために破産状態となり、企業でも倒産するものが続出した。さらに、それはすべての資本主義国に波及した。

1 世界恐慌とブロック経済 P.96, 97

- 1 (1) ニューヨーク (2) ① イギリス
 ② ブロック経済 (3) ① アメリカ
 ② ニューディール

考え方 (1) 第一次世界大戦後、世界経済の中心はヨーロッパからアメリカに移っていた。

(2) ブロック経済をとった国は、イギリスとともに多くの海外植民地を持っていたフランスである。

(3) ニューディールでは、大規模な公共事業や政府による農作物の買入れなどが行われた。

- 2 (1) ヒトラー (2) 独裁
 (3) ベルサイユ (4) イタリア
 (5) エチオピア

考え方 (1) ヒトラーが率いた国民社会主義ドイツ労働者党はナチスと呼ばれた。
 (3) ベルサイユ条約は、ドイツに多額の賠償金支払いを義務づけるとともに、軍備を禁止していた。

(4) ファシスト党を率いたのはムッソリーニ。

- 3 (1) ソ連 (2) 五か年計画
 (3) ウ (4) 財閥

考え方 (2) 経済の発展計画を五か年ごとに

区切って継続的に実施するもの。農業の集団化、工業の重工業化が進められたが、計画の過程で多くの反対者が粛清された。

(3) 世界恐慌から派生した昭和恐慌によって社会不安が広がった。

(4) 多くの中小銀行が倒産したが、財閥系の大銀行はこれらを吸収して、日本経済を支配するような大きな資本力を持つようになった。

- 4 (1) ルーズベルト (2) ムッソリーニ
 (3) ナチス (4) ファシズム

考え方 (1) ルーズベルトというアメリカ大統領は二人いる。日露戦争の講和を仲介したセオドア・ルーズベルトと、ニューディールを推進したフランクリン・ルーズベルトである。

(4) ファッションとは、古代ローマの司法官が持つ装飾品で、木の枝をたばね、その中に斧が入っている。転じて「束」、「結社」を意味する語となった。イタリアのムッソリーニは、1919年に「戦闘ファッション」を結成し、1921年に「ファシスト党」に改めた。

2 日本の中国侵略 P.98, 99

- 1 (1) 蒋介石 (2) ① 満州国
 ② 国際連盟 (3) 日中戦争
 (4) 中国共産党

考え方 (1) 中国国民党の創設者孫文は1925年に死去している。毛沢東は中国共産党の指導者。

(2) ① 満州国の執政には清朝最後の皇帝の宣統帝溥儀がつき、のちに皇帝となった。② リットン調査団の報告を受けて、国際連盟総会は反対が日本のみという圧倒的多数で、日本軍の撤兵勧告を議決した。

- 2 (1) 満州事変 (2) 五・一五事件
 (3) 南京事件

考え方 (2) この事件以降、軍人や官僚を首

相とする内閣がつくられるようになり、政変政治は8年で終わった。

- 3 (1) ① 五・一五 ② 二・二六
 (2) ① ウ ② ア (3) 清(朝)
 (4) ア (5) 北京 (6) 国民
 (7) 政変 (8) 産業報告会

考え方 (1) ① 政変政治に不満を持った海軍の青年将校らは、政府の指導者をたおせば政治が改まると考え、首相を暗殺した。② 陸軍の青年将校らが部隊を率いて反乱を起こし、東京の中心部を占領して多数の要人を暗殺するなどした。

(3) 清朝はもともと満州族の出身であった。

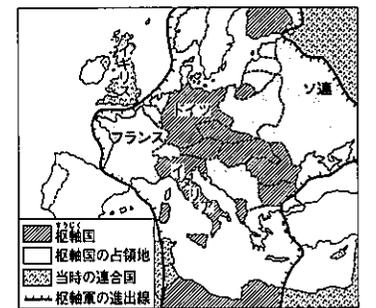
(7) 議会で政府の方針に反対する政党はなくなった。

(8) 労働運動は行われなくなった。

3 第二次世界大戦 P.100, 101

- 1 (1) ① ポーランド
 ② 第二次世界大戦 (2) ① ハワイ
 ② 太平洋戦争

考え方 (1) ① イギリス・フランスはドイツとの宥和政策をとり、ドイツのチェコスロバキア併合やオーストリア併合を認めてきたが、ドイツのポーランド侵入にはポーランドと同盟条約を結んでいたこともあって、ドイツに宣戦布告をした。② 戦局ははじめ枢軸国(ドイツなど)が優勢で、



▲枢軸国の勢力範囲(1942年)

ドイツは1940年にはフランスを降伏させ、イギリスを除くヨーロッパのほとんどの国を支配下に置いた。

(2) アメリカは当初、第二次世界大戦に中立の立場をとっていたが、日本がアメリカに宣戦布告するとドイツ・イタリアもアメリカに宣戦した。

- 2 (1) ① 不可侵条約 (2) 日独伊三国同盟
③ ① 大東亜共栄圏 ② 中立条約

考え方 (2) 日本は、ヨーロッパでドイツ軍が優勢なのを見て、ドイツ・イタリアとの間で軍事同盟を結んだ。

(3) ① 日本は、アジアから欧米の勢力を排除し、アジア民族だけで繁栄する新しい秩序を築こうと主張したが、実際には、欧米諸国に代わって日本がアジアを支配するのが目的であった。

- 3 (1) イ (2) ポーランド (3) イ
(4) ① 日中 ② フランス
(5) ① 真珠湾 ② マレー

考え方 (1) ソ連を仮想敵国とする協定。

(4) ② 1940年、ドイツ軍に首都パリを占領され、降伏した国。

(5) ② マレー半島の南端には、イギリスのアジア政策の根拠地となっていたシンガポールがあった。日本軍は、1942年2月にシンガポールを占領した。

4 戦争の終結 P.102, 103

- 1 (1) ミッドウェー (2) 疎開
(3) ① ヤルタ ② ソ連

考え方 (1) この海戦で日本海軍は優秀なパイロットを多く失うなどの大打撃を受け、太平洋の制海権はアメリカに移った。

(2) アメリカ軍の空襲は、大都市や軍需工場のある都市が目標とされたため、戦災をさけて都市の児童は地

方に避難させられた。

(3) 第二次世界大戦の戦後処理をめぐって、アメリカ・イギリスの資本主義国と、社会主義国であるソ連の間で、多くのかけひきが行われた。

- 2 (1) ドイツ (2) ポツダム宣言
(3) 広島 (4) 中立条約

考え方 (1) ドイツは首都ベルリンが占領され、ヒトラーが自殺して、連合国に無条件降伏した。

(2) 第二次世界大戦の終結が間近になると、連合国はベルリン郊外のポツダムで会談を開き、日本の降伏条件などを示した宣言を発表した。これに対して日本は、ポツダム宣言を無視する方針をとった。

(3) 広島には1945年8月6日、長崎には3日後の8月9日に原子爆弾が投下された。

- 3 (1) ① ヤルタ協定 ② 沖縄
③ ポツダム宣言 (2) 原子爆弾
(3) (日ソ)中立条約

考え方 (1) ② 沖縄では高校生や女学生なども動員され、民間人にも多くの死者が出た。

(2) アメリカは戦争末期に原子爆弾の開発に成功し、戦後、ソ連に対して軍事的優位に立つために原子爆弾を投下したといわれている。広島・長崎では、一瞬にして多くの人命が失われた。

4 ウ

考え方 徴兵によって労働者が不足したため、学生や女学生が動員され、軍需工場に働いた。また、学徒出陣といって、文科系の学生を中心に徴兵されて戦場へ向かった。

まとめのドリル P.104, 105

- 1 (1) 世界恐慌
(2) ① ニューディール
② ブロック経済 (3) ① ヒトラー
② エチオピア ③ 満州

考え方 (1) アメリカで恐慌が起こったのは、ヨーロッパ諸国の復興などで、工業生産が過剰になっていたことや、産業合理化などで失業者が増加し、国民の購買力が低下したことなどが原因である。

(2) ① 失業対策として、テネシー川の総合開発などの公共事業が行われた。

(3) ① ドイツは世界恐慌の影響で、空前のインフレーションに見舞われ、経済が破綻状態になった。このような中で、ヒトラーはベルサイユ条約の破棄やユダヤ人の陰謀を主張して大衆の支持を受け、選挙によって政権をにぎった。③ 満州は日本の重要な市場であり、原料供給地であった。また、南満州鉄道は巨額な利益を生み出していた。日本からは、恐慌の影響で苦しい生活をしている農村の人々を中心に、開拓団が組織されて満州にわたった。

- 2 (1) 五・一五事件 (2) エ
(3) アメリカ (4) 国家総動員法
(5) ポーランド
(6) 日本・ドイツ・イタリア
(7) アメリカ (8) ポツダム宣言

考え方 (2) 満州事変の後、日本は満州からの撤退を勧告され、国際連盟を脱退した。以後、日本は国際的に孤立し、軍縮条約を破棄して軍備の拡大に進んでいった。

(3) 日本の南進政策は、東南アジアの石油・すず・ゴム・米などの獲得をめざすもので、アメリカやイギリ

スの利益と衝突するものであった。日本は、石油の輸出禁止などを行うアメリカと交渉する一方で、戦争の準備を進めた。

定期テスト対策問題 P.106, 107

- 1 (1) バルカン (2) シベリア
(3) ① 民族自決
② 三・一独立運動 (4) イ
(5) 関東大震災
(6) ① 25 ② 治安維持法

考え方 (1) 複雑な民族・宗教の対立があり、「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた。

(2) 写真は米騒動をえがいた絵である。各地の米騒動に対し、政府は軍隊を動員して鎮圧に努めた。

(3) ① 第一次世界大戦後は、この原則にもとづいて民族運動が活発になった。東ヨーロッパでは、ベルサイユ条約などによって多くの民族国家が承認された。アジアやアフリカでも民族の独立を求める運動がさかんになったが、これらの地域を植民地としていた列強は、独立を認めなかった。なお、14か条の提案などで世界平和に貢献したとして、ウィルソンは1919年にノーベル平和賞を受賞している。

- 2 (1) ウ (2) ① 五・一五
② ポーランド
(3) ニューディール(政策)

考え方 (1) ベルサイユ条約は、第一次世界大戦における連合国とドイツとの講和条約であるから、Aはドイツである。また、テネシー川はアメリカ国内の川であるから、Bはアメリカである。Cは人名などから日本であることは確実である。Dは「イギリスとともに…宣戦」1940年、枢軸国に

「降伏」から、フランスであることがわかる。

- ③ (1) ソ連 (2) ヤルタ協定
(3) イ

考え方 (1) 社会主義国のソ連は、資本主義諸国にとっては警戒する相手であった。第二次世界大戦は全体主義国家に対する民主主義国家の戦いと位置づけられたために、アメリカ・イギリスなどはソ連とともに戦ったが、戦争の終結が見えてくると、当初の社会主義国と資本主義国という対立の構造が再現した。

(3) ポツダム宣言の内容は、日本の軍国主義の絶滅、軍隊の武装解除、領土の制限、民主化の促進などであった。日本政府は天皇の地位がおびやかされると考えて、ポツダム宣言を無視する態度をとった。

19 日本の民主化と国際社会への参加

スタートドリル

P.110, 111

- ① (1) マッカーサー (2) 日本国憲法
(3) 国際連合 (4) 中華人民共和国
(5) 朝鮮戦争 (6) 警察予備隊
(7) 平和条約

考え方 (2) 日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三つの柱がある。大日本帝国憲法で主権者とされた天皇は、日本国と国民統合の象徴とされ、統治権を失った。
(7) アメリカとソ連の対立が深まると、アメリカは日本をアメリカ側にとめておきたいという考えが強まり、講和を急ぐことになった。1951年、アメリカのサンフランシスコに52か国の代表が集まり、日本との講和会

議が開かれた。ソ連など3か国が条約に反対したが、日本は48か国とサンフランシスコ平和条約を結び、翌年の4月に独立をとりもどした。

- ② (1) 財閥 (2) 労働基準法
(3) 農地改革

考え方 (3) 農地改革以前の日本の農民は、4分の3以上が小作か自作小作農であった。そして、収穫の半分以上の小作料を支払っていた。

- ③ (1) ① 昭和 ② 国際連合
③ 日本国 ④ 朝鮮 ⑤ 平和
⑥ 財閥 ⑦ 農地改革 (2) 民主

考え方 (1) ② 1945年2月～6月のサンフランシスコでの連合全体会議で、51か国の代表により国際連合憲章が採択された。1945年10月24日、51か国の過半数の26か国が批准を終わり、ここに国際連合憲章と、これにもとづく国際連合が正式に成立した。

① 占領と日本の民主化 P.112, 113

- ① (1) マッカーサー (2) ポツダム宣言
(3) 財閥 (4) 農地改革

考え方 (1) 日本の占領政策は、連合国の代表で構成される極東委員会が最高議決機関であったが、実質的にはアメリカ軍中心の連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)が強い力を持ち、最高司令官はアメリカ陸軍元帥のマッカーサーだった。

(3) 戦前、日本の経済を支配したのは、三井、三菱、住友、安田といった財閥だった。

(4) 本州では不在地主の農地の全部と、在村地主の1町歩以上の農地を国が強制的に買い上げ、小作人に安く売りわたした。

- ② (1) 1946 (2) 国民
(3) 基本的人権 (4) 平和

- (5) 象徴 (6) 教育基本
(7) 労働基準

考え方 (1) 公布は1946年11月3日、施行は1947年5月3日。5月3日は憲法記念日として国民の祝日になっている。
(6) 教育勅語の忠君愛国に代わり、民主的な教育の原則が示された。これに従って学校教育法が制定され、6・3・3・4制の教育が始まった。

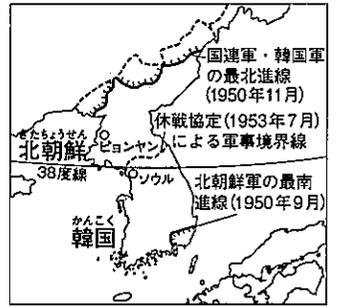
- ③ (1) ① 軍隊 ② 政党
③ 自作農 (2) 治安維持法
(3) 大政翼賛会 (4) ① 20
② 男女 (5) 民法 (6) 農地改革

考え方 (2) 共産主義運動を取りしめるための法律だったが、戦時体制下ではキリスト教徒や自由主義者も取りしめりの対象となった。
(4) ② 婦人参政権が認められ、戦後第1回の総選挙では多くの婦人議員が当選した。
(5) 憲法に規定された「両性の本質的平等」の原則に従って新民法が制定された。

② 二つの世界とアジア P.114, 115

- ① (1) ① 朝鮮民主主義人民共和国
② 大韓民国 (2) 朝鮮戦争
(3) ① 資本主義 ② 共産主義
(4) 冷戦 (5) ① 北大西洋条約機構
② ワルシャワ条約機構

考え方 (1) 朝鮮半島は日本の無条件降伏後、北緯38度線を境界として、南北に分かれていた。
(2) 国際連合の安全保障理事会は、ソ連が欠席している間に、朝鮮戦争を北朝鮮の侵略と認定し、韓国を援助するために国連軍の派遣を決めた。
(5) ① 略称をNATOという。



▲朝鮮戦争

② (1) 国際連合 (2) 毛沢東
考え方 (1) 国際連盟が第二次世界大戦を防ぐことができなかったことを反省し、新たにつくられた国際組織。大国に国際平和についての責任を負わせ、大国の一致によって平和を守ろうとした。敗戦国の日本は、最初加盟を認められなかった。
(2) 日中戦争の開始以後、統一戦線を組んでいた国民党と共産党は、日本の降伏後に対立が再燃して、再び内戦が始まった。やがて共産党が優勢になると、国民党は台湾に逃れ、中国本土は共産党によって統一された。

- ③ (1) ① (中国)共産党 ② 台湾
③ アメリカ (2) 中華人民共和国
(3) 毛沢東
(4) ① ⑥ 北大西洋条約機構(NATO)
⑦ ワルシャワ条約機構
② 冷たい戦争(冷戦) ③ ドイツ

考え方 (4) ① ワルシャワ条約機構は、ポーランドの首都ワルシャワで結ばれた条約で成立した軍事同盟。③ 第二次世界大戦末期、ドイツは、東からソ連、西からアメリカを中心とした連合軍によって攻撃され、それぞれの占領地が戦後も固定されていた。ソ連の占領地にはドイツ民主共和国(東ドイツ)、アメリカ・イギリスなどの占領地にはドイツ連邦共和

国(西ドイツ)が成立した。

③ 国際社会に復帰する日本 P.116, 117

- ① (1) 共産主義 (2) ① 朝鮮戦争
② 中国 ③ 38 (3) 警察予備隊

考え方 (2) 北朝鮮と韓国の統一をめぐる争いから起こった戦争。北朝鮮は一時半島南端まで勢力をのびしたが、アメリカを中心とする国連軍が韓国を援助してお返し、さらに中国が義勇軍を送って北朝鮮を援助して、北緯38度線を境に戦局は一進一退が続いた。1953年に休戦協定が結ばれて戦争は終結したが、現在でもこの状態が続いている。

(3) 日本に駐留していたアメリカ軍が朝鮮戦争に出動する留守に、警察予備隊によって日本を守ることを目的とした。1952年に保安隊、1954年に自衛隊と改称・拡大され、現在に至っている。

- ② (1) サンフランシスコ
(2) ① 日ソ共同宣言 ② 国際連合

考え方 (1) ソ連はサンフランシスコ平和条約に調印せず、中国は会議に招かれなかった。日本国内では、ソ連・中国をふくめたすべての交戦国と講和を結ぶべきだという全面講和論も唱えられたが、政府は反対をおし切って調印した。

(2) ソ連は日ソ共同宣言までは、国連の安全保障理事会で拒否権を行使して、日本の国連加盟に反対していた。

- ③ (1) 吉田茂 (2) 日米安全保障条約
(3) 朝鮮戦争 (4) 自衛隊

考え方 (2) アメリカ軍は占領の終結後も、日本に駐留し続けることになった。この条約によって、日本は西側陣営にはっきりと組みこまれることになった。

(4) 自衛隊の存在は、戦力の保持を禁じた日本国憲法第9条との関係で、多くの議論を生んだ。日本政府は、自衛隊は憲法が禁じる戦力にはあたらないという立場を取っている。

④ ア

考え方 ワシントン会議は、大正後期に当時の有力国が海軍の主力艦などの軍縮を進めるために開催された。ポーツマス条約は、日露戦争の講和条約である。下関条約は、日清戦争の講和条約である。

まとめのドリル P.118, 119

- ① (1) 国際連合 (2) 朝鮮戦争
(3) サンフランシスコ
(4) 日ソ共同宣言 (5) ① ア
② ア ③ イ (6) 農地改革

考え方 (1) 連合50か国がサンフランシスコで国際連合憲章に調印し、国際連盟に代わる新しい国際機構として国際連合が発足した。総会・安全保障理事会を中心機関として、多くの専門機関がある。本部はニューヨークに置かれている。

(2) この戦争が起こると、日本は国連軍への物資供給地となり、特需景気と呼ばれる好景気が起こった。その結果、日本の復興が進み、工業生産は戦前の水準に回復した。

(3) 平和条約の名称に、講和会議の開かれた都市名がついている。この平和条約によって、日本は朝鮮の独立を承認し、台湾・南樺太・千島などの権利を放棄した。また、沖縄と奄美群島・小笠原諸島は、引き続きアメリカの統治下に置かれることになった。

(5) ① 1949年。② 労働三法とは、労働基準法・労働組合法・労働

関係調整法のこと。1945～47年に制定された。③ 朝鮮戦争が始まった2か月後のことで1950年。
(6) 自作農が増えて小作農が減っていることを読みとる。

- ② (1) ア (2) a 中国 b インド
c ソ連 (3) A ニューヨーク
B 総会

考え方 (2) a 中国が招かれなかったのは、中華人民共和国政府と台湾に逃れた中華民国政府のどちらが中国を代表する政府であるかをめぐって、連合国の間に対立があったため。

20 国際社会と日本

スタートドリル P.122, 123

- ① (1) アフリカ (2) 非核三原則
(3) アフガニスタン (4) ドイツ
(5) ソ連

考え方 (1) 1955年、インドネシアのバンドンに29か国の代表が集まった。アジア・アフリカ人だけの世界的国際会議ははじめてであった。会議では、すべての植民地の解放、民族の独立、原水爆禁止、戦争反対などを決めた。

(2) 1968年、当時の佐藤栄作首相が衆議院本委員会で、核兵器を「持たず、つくらず、持ちこませず」の三原則を表明し、政府の基本政策とした。1971年には、衆議院本会議で決議を採択した。

(4) 1989年、ベルリンを東西に分断していたベルリンの壁が崩壊し、解放された。翌年、西ドイツが東ドイツを吸収する形でドイツが統一した。

- ② (1) 四日市ぜんそく (2) バブル経済
(3) 貿易摩擦 (4) 南北問題

(5) 地球温暖化

考え方 (1) 三重県四日市市で、石油化学コンビナートから出された硫酸化物質によって発生したぜんそくで、大気汚染による公害病。イタイイタイ病は、鉱山から流れ出たカドミウムが原因で、水質汚濁である。
(5) 二酸化炭素などの温室効果ガスの増加により、地球の気温が高まること。南極や北極の氷がとけ、標高の低い島国、低地などでは居住が困難になるおそれがある。また、農林業にも大きな影響をあたえる。

- ③ (1) ① 昭和 ② キューバ
③ 日韓基本 ④ 日中共同声明
⑤ ドイツ
⑥ 石油危機(オイルショック)
⑦ 議定書 (2) 平和共存

考え方 (1) ② キューバは1959年、共産主義革命に成功した。1962年にソ連と武器援助協定を結び、ミサイル基地の建設を開始したが、アメリカの抗議があつて撤去した。③ この条約で「大韓民国政府は、朝鮮にある唯一の合法的な政府である」とし、北朝鮮を否認し、東アジアに新たな緊張関係をつくった。④ 当時の田中角栄首相が北京を訪れ、毛沢東首席とも会談し、日中の国交が回復した。⑦ 1997年の地球温暖化防止京都会議で採択されたもの。2008年から2012年までの間に、先進国締約国全体で温室効果ガスを、1990年比で5%以上削減することを目標としている。

① 日本経済の発展 P.124, 125

- ① (1) 重化学工業 (2) 石炭から石油
(3) 経済大国 (4) 耐久消費材
(5) 1980年代

考え方 (1) 1960年代から国民総生産の対前年の比率は二けたを続けるようになり、史上例を見ないと言われた経済発展を達成した。

(4) 耐久消費材とは、食料品のようにすぐに消費して(食べて)しまわないで、家庭などで比較的長期にわたって使用するものをいう。

(5) バブルとは「あわ」のこと。見かけの価値だけがどんどん上がって、実体がついていかない様子をさす。地価(土地の値段)はこの時期に数倍にも上がったが、バブルがはじけると、たちまち下落した。

- 2** (1) 公害 (2) 公害対策基本法
(3) 環境庁 (4) 過密 (5) 過疎

考え方 (1) 公害とは産業活動などで生じる①騒音、②振動、③悪臭、④大気汚染、⑤水質汚濁などをいう。

(2) 公害対策基本法は1967年に制定されたが、その内容は「産業の発展との調和を図る」というものだったため、公害問題の深刻化とともに改正(1971年)され、「調和条項」は削除された。

(4)・(5) 「過密」とは、人口が集中することによって、人々の生活に支障が出るような問題。「過疎」とは、人口の減少によって、社会的なサービスができにくくなるような状態をいう。

- 3** (1) イ (2) 石油危機(オイルショック)
(3) (第四次)中東戦争 (4) ① 日本 ② ヨーロッパ ③ 貿易収支
(5) 貿易摩擦 (6) イ

考え方 (1) 世界経済は混乱したが、日本の貿易が行われなくなったことはない。
(3) 第二次世界大戦後、パレスチナにイスラエルが建国したことから続いている争い。ユダヤ民族の悲願だったイスラエル建国によって土地を

追われたパレスチナ人(アラブ民族)と、それを支援するアラブ諸国は、イスラエルとたびたび戦火を交えたが、アメリカの援助などで軍事力にまさるイスラエルが占領地を拡大し、現在でも平和は達成されていない。

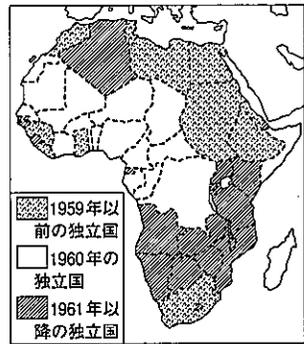
(6) 日本の農業は、土地がせまいために外国と比べて生産性が低く、農産物の価格は高くなっている。国は日本の農業を守るために、外国産の安い農産物の輸入を制限してきた。

2 国際関係の変化 P.126, 127

- 1** (1) ① バンドン ② 平和十原則
(2) アフリカの年 (3) アメリカ
(4) 第三世界

考え方 (1) アジア・アフリカ会議は、バンドン会議とも呼ばれる。

(2) アフリカは、ほとんどがヨーロッパ諸国の植民地にされていたが、戦後、独立の動きが高まっていた。



(3) アメリカ軍の大規模な軍事介入には、国内だけでなく国際的な反戦運動が起こり、1973年、アメリカ軍は撤退した。

(4) アジア・アフリカ諸国は、東西両陣営の二つの世界に対して第三世界と呼ばれ、国際社会での発言力を強めていった。

- 2** (1) 中ソ対立 (2) ヨーロッパ共同体
(3) ヨーロッパ連合 (4) 南北問題

(5) 多極化

考え方 (2) 略称はEC。ヨーロッパ経済共同体(EEC)、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)、ヨーロッパ原子力共同体(EURATOM)の三つの組織が統合されてきた。

(3) 略称はEU。ECが1992年のマーストリヒト条約により、新たに外交・安全保障、経済・通貨、社会の三分野での統合を進めることになり、1993年のマーストリヒト条約の発効とともに名称を変更した。

- 3** (1) 日米安全保障(新安保)条約
(2) 日韓基本条約 (3) 日中共同声明
(4) 沖縄県 (5) 日中平和友好条約

考え方 (2) 日本の植民地で、過酷な支配を受けてきた韓国では反日感情が強く、戦後も長い間、正式な国交は開かれていなかった。

(3) アメリカのニクソン大統領の中国訪問によって、米中間の接近が図られたことが背景にあった。

- 4** (1) ベレストロイカ
(2) ベルリンの壁の崩壊
(3) ユーゴスラビア
(4) ユダヤ民族(人) (5) 非核三原則

考え方 (2) ソ連は東ドイツの崩壊と西ドイツによる吸収を黙認した。

(3) 第一次世界大戦の原因の一つとなった民族・宗教の対立が、ユーゴスラビアの解体によって再燃した。

3 21世紀の世界と日本 P.128, 129

- 1** (1) ① 二酸化炭素 ② 地球温暖化
(2) 酸性雨 (3) フロンガス
(4) 部分的核実験停止条約

考え方 (2) 工場や自動車から出された硫酸酸化物や窒素酸化物が、強い酸性を示して降る雨のこと。森林や農作物をからし、湖沼の生物を死なせ、石

造建築物の表面をとかしてしまふ。

- 2** (1) CTBT (2) 北方領土
(3) 朝鮮民主主義人民共和国

考え方 (1) 地下をふくむあらゆる場所における核爆発実験を禁止する条約で、1996年に国連総会で採択された。条約の発効には五核兵器国、インド、パキスタン、イスラエルなどが批准する必要があるため、まだ発効していない。

(3) 拉致問題とは、1970年代後半以降、北朝鮮が日本国内で日本国民を拉致し、北朝鮮へ連れていった問題。

- 3** (1) ① 二酸化炭素 ② 地球温暖化
③ 京都議定書 (2) ヒフがん
(3) 酸性雨

考え方 (2) 地上15~50kmの成層圏にオゾンがとどまっている層をオゾン層という。オゾン層が破壊されると、地上に達する有害な紫外線が増加し、ヒフがんにかかりやすくなる。

- 4** (1) ロシア(連邦) (2) 拉致問題
(3) 部分的核実験停止条約

考え方 (3) 1963年、アメリカ・イギリス・ソ連の三国が、モスクワで結んだ条約。大気圏内、宇宙空間および水中における核兵器実験を禁止するという内容である。しかし、地下核実験は除外している。

まとめのドリル P.130, 131

- 1** (1) 朝鮮 (2) 技術革新
(3) テレビ (4) エ (5) ウ

考え方 (1) 国連軍に軍需物資を供給し、特需景気と呼ばれる好景気がおとずれた。

この結果、日本の工業生産は戦前の水準にまで回復し、その後の高度経済成長の基礎となった。

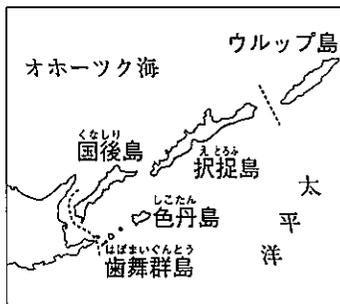
(3) テレビは、1959年の皇太子(現在の天皇)ご成婚に際してパレード

を中継して爆発的に普及し、1964年の東京オリンピックに際しカラーテレビが普及したといわれる。

(4) インフレーションとは、通貨の価値が下落し、物価が上昇すること。普通は好景気のときに起こるが、不況下でも起こることがある。不況下のインフレーションを、特にスタグフレーションといい、1970年代半ばに日本で起こった。

- 2 (1) ベレストロイカ (2) ベルリン
(3) ドイツ (4) ワルシャワ条約機構
(5) CIS (6) ロシア(連邦)

考え方 (1) ロシア語で、再編、改革、改造という意味。
(2) 第二次世界大戦で、ドイツの首都だったベルリンは、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連に分割占領され、戦後東西の対立からアメリカなどの占領していた西ベルリンと、ソ連が占領していた東ベルリンに一つの都市が分裂していた。その境界線に東ドイツの手でつくられたのがベルリンの壁である。1989年にベルリンの壁が崩壊し、1990年にドイツが統一された。
(6) 独立国家共同体の中で、最大の人口・面積を持つ国。国際連合では旧ソ連の地位を継承して、安全保障理事会の常任理事国となっている。北方領土とは、1854年の日露和親条約で択捉島以南を日本領、ウルップ



▲北方領土

島以北をロシア領としたもの。日本は固有の領土であるとしている。

定期テスト対策問題 P.132, 133

- 1 (1) 朝鮮戦争 (2) キューバ
(3) 湾岸戦争 (4) 冷たい戦争(冷戦)
(5) 南北問題 (6) 日中共同声明
(7) 沖縄の日本への復帰

考え方 (2) キューバではアメリカ資本を背景とした独裁者による圧政が続いていたが、カストロが指導する革命が成功して、共産主義国家への道を進んだ。ソ連はこのキューバを援助して、キューバにミサイル基地を建設しようとした。歴史的にカリブ海諸国を自国の勢力範囲と考えていたアメリカは、キューバの海上封鎖を行って、ミサイル基地の建設資材がキューバに運びこまれるのを阻止しようとした。

(3) この戦争のもようはテレビで放映され、世界各国の人々に衝撃をあたえた。翌年日本ではPKO(国連平和維持活動)協力が制定された。しかし、PKOの一環としての自衛隊の海外派遣は、憲法との関係から国内で強い反対が起きるとともに、過去に日本の侵略に苦しんだアジアの国々からも、懸念の声があがった。
(5) 先進工業国は北半球の中緯度地方に多く、発展途上国はその南に多いことから、南北問題といわれる。
(7) 日韓基本条約の調印は1965年、日米安全保障条約の調印は1951年、オリンピック東京大会の開催は1964年、日本の国際連合への加盟は1956年のこと。

- 2 ① マッカーサー ② 農地改革
③ 財閥解体 ④ 労働組合

⑤ 教育基本

考え方 ④ 労働三権とは、労働者の団結権(労働組合をつくる権利)、団体交渉権(会社側と交渉する権利)、国体行動権(ストライキなどを行う権利)のことである。

- 3 (1) ポツダム
(2) イ→ウ→ア

考え方 (1) 日本の降伏条件を定めたもので、日本はこの宣言を受諾して降伏した。
(2) アは1991年、イは1963年、ウは1987年。

総合問題 (政治) P.134, 135

- 1 (1) 坂本龍馬 (2) 西郷隆盛
(3) 君主権が強かった。 (4) 日清
(5) ポーツマス条約 (6) 清
(7) レーニン (8) 原敬
(9) 犬養毅 (10) 太平洋

考え方 (2) 西南戦争は1877年、旧薩摩藩を中心とする士族が西郷隆盛を擁して起こした、明治初年最大にして最後の士族の反乱。
(5) 日露戦争の講和会議は、アメリカの仲介でアメリカの都市で行われた。

- 2 (1) 絶対王政 (2) イギリス
(3) 独立宣言 (4) フランス革命

考え方 (1) 中世封建社会から近代市民社会に移る過渡期に生まれた国家で、国王の権力がこれまでになく強くなり、中央集権制がとられた。
(3) 1776年、アメリカが独立を内外に宣言したもの。この宣言の日の7月4日がアメリカ建国の日とされている。

- 3 (1) イ (2) ウ (3) ウ
(4) アメリカ (5) B

考え方 (2) 日中共同声明によってA国と日

本との国交が正常化されたのは1972年のこと。この年に、沖縄が日本に返還された。

(4) Dの国はベトナム。ベトナム戦争はベトナムとアメリカの間で行われた。

総合問題 (経済) P.136, 137

- 1 (1) イギリス (2) せんい工業
(3) 世界の工場 (4) 資本主義社会
(5) ウ

考え方 (2) 紡績機の改良・発明によって、工場が安い綿布を大量に生産できるようになった。

- 2 (1) ① 3 ② 現金
(2) ア (3) 生糸

考え方 (2) イは太平洋戦争後、ウは大正の末期、エは太平洋戦争中。
(3) 製糸とは、生糸をつくること。

- 3 (1) ア (2) ① 足尾銅山
② 田中正造

考え方 (1) 日露戦争では賠償金を得られなかった。八幡製鉄所は、日清戦争の賠償金の一部を使って建てられた。福岡県八幡村につくられ、工事はドイツ人技師の指導ですすめられた。

- 4 (1) 農地改革 (2) ① ⑤ 工
③ イ ② 新潟水俣病

考え方 (2) ① 1950年代半ばから始まった高度経済成長は、1973年の石油危機で終わった。② 化学工場から阿賀野川に流れ出た有機水銀が原因で、手足がしびれ、目や耳が不自由となり、死ぬ人も出た。

- 1 (1) 学制 (2) 学校令
 (3) ① ④ 4 ⑤ 6
 ② 教育勅語

考え方 (1) 全国に約5万4000の小学校をつくる計画で、小学校から大学まで、近代的な学校制度の確立を図った。
 (3) ② 正式名称は「教育ニ関スル勅語」。天長節(天皇誕生日)などは特に重要な国民的祝日とされ、御眞影(両陛下の写真)の前で教育勅語を読むことになっていた。

- 2 (1) ① 福沢諭吉 ② 中江兆民
 (2) イ
 (3) ① 文明開化 ② エ

考え方 (1) ② 東洋のルソーと呼ばれた。
 (3) ② これまでの太陰暦をやめて太陽暦を採用し、1日を24時間とした。

- 3 (1) エ (2) ウ
 (3) イ (4) ア

考え方 (3) 鹿児島市出身の洋画家。法律の研究のためにフランスに留学するが、同時に絵画も修業する。パリの万国博覧会に「智・感・情」を出品して銀賞を受ける。日本にはじめて印象派の絵画を紹介したことでも有名。